

北海道アウトドアフォーラム2024 選択ワークショップ時間割

2024/10/1

		①11/16 (09:30-10:45)	②11/16(11:15-12:30)	③11/16 (14:00-15:15)	④11/16 (15:45-17:00)	⑤11/17 (09:00-10:15)
ア	タイトル	自然体験活動を行う上でバリア（障壁）となることってなんだろう？ 誰もが体験を楽しめるよう一緒に考えてみませんか？		創業 19 年 施設年間人数 1 万人 スタッフ 12 人 委託 8 名 ガイド会社の経営論	ウチダザリガニ防除を通して 外来生物問題を考える	海を渡ってきた北海道の香り
	実施者	龍見 瑞季（株式会社地域環境計画 北海道支社 生物多様性推進室） 松澤 直紀（支笏ガイドハウスかのお）		板谷 貴文 （株式会社オーシャンデイズ 代表取締役）	金子 恵美 / 石原 徹 （遠軽町ウチダザリガニ防除グループ ジオザリクラブ）	青野 範子 （かみふらの十勝岳観光協会 会長）
	定員	30名		-	-	30名
イ	タイトル	オリジナルバードコールを作って散歩行こ！		活動フィールドの価値を高め、守るための、 生きもの観察記録（1）講義とフィールドワーク	活動フィールドの価値を高め、守るための、 生きもの観察記録（2）ハンズオン	個人とグループの成長を促す アドベンチャー教育プログラム体験
	実施者	長谷川 勘太郎 （vock 代表）		松岡 和樹（株式会社地域環境計画） 龍見 瑞季（株式会社地域環境計画） 白川 勝信（特定非営利活動法人 ochibo）	白川 勝信（特定非営利活動法人 ochibo） 松岡 和樹（株式会社地域環境計画） 龍見 瑞季（株式会社地域環境計画）	鈴木 宏紀 （自然考房 Nature Designing 代表）
	定員	15名		-	-	15名
ウ	タイトル	"Anyone Can Bring Everything" 何でもかんでもは簡単—必要最小限の荷物で安全な冒険術を—		地域創生とアウトドア	北海道で、星や宇宙を感じよう！	安全性を高める テントレイヤリング&ツェルトの使い方
	実施者	Mick Hultz (Asobi Master Founder) Grigory (Greg) Bellakov		中田 和彦 （北海道文教大学 教授）	小村 奈緒美 （緑の風リゾートきたゆざわ満天星）	平川 陽一郎 （㈱finetrack パートナーズオフィサー）
	定員	-		20名	-	-
エ	タイトル	五感で自然を楽しむ環境教育プログラム体験	アドベンチャートラベル・ワールド サミット2023を終えて、そして未来へ	安全・安心・快適な野外活動に役立つ レイヤリング	アウトドア業界カタリバ〜今抱えている課題や 明るい未来を語り合おう	みんなで考えるアウトドアの未来 〜アウトドアの原点に立ち返ろう クリティカルシンキングとアンラーン〜
	実施者	鈴木 宏紀 （自然考房 Nature Designing 代表）	菊地 敏孝 （北海道アドベンチャートラベル協議会）	平川 陽一郎 （㈱finetrack パートナーズオフィサー）	白川 美穂 / 鈴木 宏紀 / 松澤 直紀 清洲 清彦 / 山田 亮 （北海道アウトドアネットワーク（HON）設立準備会）	植田 祐矢 （札幌新陽高等学校）
	定員	20名	20名	-	-	-
オ	タイトル	国立公園とアウトドア	ガイドのキャリアを見つめなおす 〜教えて！皆さんの働き方、稼ぎ方〜	American Canoe Association (ACA) - SUP & Kayak Instructor Training Style	防災・減災教育についての開発プログラム	今後のアウトドアツーリズムの可能性を 一緒に考えませんか！
	実施者	岡野 隆宏 （環境省釧路自然環境事務所 所長）	北海道経済産業局 （北海道二十一世紀総合研究所、エゾシカ旅行社）	Mick Hultz （Asobi Master Founder）	独立行政法人国立青少年教育振興機構 「防災・減災教育グループ」 （国立淡路青少年交流の家、国立諫早青少年自然の家、 国立岩手山青少年交流の家、国立日高青少年自然の家）	武田 丈太郎 / 山田 亮 （北海道教育大学岩見沢校）
	定員	-	-	-	-	-
カ	タイトル					北海道におけるリバー・セルフ・ガイドの 可能性と課題
	実施者					トムソン ヘイディ （北星学園大学短期大学部）
	定員					15名

北海道アウトドアフォーラム2024選択ワークショップ概要

11月16日(土) ①09:30~10:45

① ② ア	タイトル	自然体験活動を行う上でバリア(障壁)となることってなんだろう?誰もが体験を楽しめるように一緒に考えてみませんか? ※2コマ連続実施
	実施者	龍見 瑞季(株式会社地域環境計画 北海道支社 生物多様性推進室) 松澤 直紀(支笏ガイドハウスかのあ)
	内容	健常者だけでなく障がいを持っている人に対して、野外での自然体験を行う際、自然の素晴らしさや、ドキドキ感、新たな学びを体感していただくためには、どのような手法や留意すべきことがあるのでしょうか。このワークショップでは、障がいを持つ人に対しても体験を提供されている支笏ガイドハウスかのあの松澤さんとともに、バリアフリーについて考え・体験するワークショップを行います。(屋外活動あり)
	対象 定員	野外で自然体験活動に関わる人 30名

① ② イ	タイトル	オリジナルバードコールを作って散歩行こ! ※2コマ連続実施
	実施者	長谷川 勤太郎(vock 代表)
	内容	木のクライミングホールド屋さん歴17年のvockのものづくりワークショップ。 自分のイラストをレーザー刻印するオリジナルバードコールを各々が製作します。完成したら屋外へ鳥と会話をしに行きます。イラスト(モノクロ)はその場で描いてもらいます。正方形サイズの絵を考えておいてもその場のインスピレーションでも良いです。実際に鳥が返事をしてくれるかは鳥さんの気分と参加者が鳥の気持ちになりきれるか次第です!それから私がトマムリゾート内で森の散策ツアーガイドもしているのでその辺の話も交え雑談出来たらと思います。(屋外活動あり)
	定員	15名
教材費	バードコール製作キット 1,100円/人 ※当日現金徴収	

北海道アウトドアフォーラム2024選択ワークショップ概要

① ② ウ	タイトル	"Anyone Can Bring Everything" 何でもかんでもは簡単 —必要最小限の荷物で安全な冒険術を— ※2コマ連続実施
	実施者	Mick Hultz (Asobi Master Founder) / Grigory (Greg) Beliakov
	内容	<p>'Anyone Can Bring Everything' means that experience teaches us which equipment is crucial, using equipment systems thinking, and planning your team instead of just yourself. Experienced expedition members will demonstrate remote camping methods and equipment choices. You can see backcountry camps suitable for 3-30 days of expeditions using kayaks or canoes. They demonstrate a combination of personal experience and formal training in international standards and best practices developed by the following organizations:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Wilderness Educational Association (WEA) - Leave No Trace (LNT) - American Canoe Association (ACA) - British Canoe Union (BCU) - National Outdoor Leadership School (NOLS) - Viristar Risk Management - International Federation of Sea Kayak Guides (ISKGA) <p>Join, help, ask questions, and see firsthand how these methods differ from those of the car-centered camp styles you may already be familiar with. Various equipment from overseas will be used, some has been in service for over 20 years. Participants of all experience levels are welcome to share in learning and discussion. There is no one right way, so let's all learn from each other. Japanese, English, and Russian language is OK! (屋外活動あり)</p>
定員	なし	

① エ	タイトル	五感で自然を楽しむ環境教育プログラム体験
	実施者	鈴木 宏紀 (自然考房 Nature Designing 代表)
	内容	秋から冬に向かう日高の自然を、五感を使って楽しみましょう。音を聞いたりにおいをかいたり、自然物を使って表現したり、子どもから大人まで誰でも楽しめる内容です。(持ち物:防寒着、レインウェア、汗拭きタオル) (屋外活動あり)
定員	20名	

① オ	タイトル	国立公園とアウトドア
	実施者	岡野 隆宏 (環境省釧路自然環境事務所 所長)
	内容	本年 6 月 25 日に北海道で 7 番目の国立公園、『日高山脈襟裳十勝国立公園』が誕生しました！この機会に、国立公園の役割や制度を理解し、アウトドアや AT での利活用のあり方について一緒に考えてみませんか？皆さまの参加をお待ちしています。
定員	なし	

北海道アウトドアフォーラム2024選択ワークショップ概要

11月16日(土) ②11:15~12:30

① ② ア	タイトル	自然体験活動を行う上でバリア(障壁)となることってなんだろう? 誰もが体験を楽しめるように一緒に考えてみませんか? ※2コマ連続実施
	実施者	龍見 瑞季(株式会社地域環境計画 北海道支社 生物多様性推進室) 松澤 直紀(支笏ガイドハウスかのあ)
	内容	健常者だけでなく障がいを持っている人に対して、野外での自然体験を行う際、自然の素晴らしさや、ドキドキ感、新たな学びを体感していただくためには、どのような手法や留意すべきことがあるのでしょうか。このワークショップでは、障がいを持つ人に対しても体験を提供されている支笏ガイドハウスかのあの松澤さんとともに、バリアフリーについて考え・体験するワークショップを行います。(屋外活動あり)
	対象 定員	野外で自然体験活動に関わる人 30名

① ② イ	タイトル	オリジナルバードコールを作って散歩行こ! ※2コマ連続実施
	実施者	長谷川 勤太郎(vock 代表)
	内容	木のクライミングホールド屋さん歴17年のvockのものづくりワークショップ。 自分のイラストをレーザー刻印するオリジナルバードコールを各々が製作します。完成したら屋外へ鳥と会話をしに行きます。イラスト(モノクロ)はその場で描いてもらいます。正方形サイズの絵を考えておいてもその場のインスピレーションでも良いです。実際に鳥が返事をしてくれるかは鳥さんの気分と参加者が鳥の気持ちになりきれるか次第です!それから私がトマムリゾート内で森の散策ツアーガイドもしているのでその辺の話も交え雑談出来たらと思います。(屋外活動あり)
	定員	15名
教材費	バードコール製作キット 1,100円/人 ※当日現金徴収	

北海道アウトドアフォーラム2024選択ワークショップ概要

① ② ウ	タイトル	"Anyone Can Bring Everything" 何でもかんでもは簡単 —必要最小限の荷物で安全な冒険術を— ※2コマ連続実施
	実施者	Mick Hultz (Asobi Master Founder) / Grigory (Greg) Beliakov
	内容	<p>'Anyone Can Bring Everything' means that experience teaches us which equipment is crucial, using equipment systems thinking, and planning your team instead of just yourself. Experienced expedition members will demonstrate remote camping methods and equipment choices. You can see backcountry camps suitable for 3-30 days of expeditions using kayaks or canoes. They demonstrate a combination of personal experience and formal training in international standards and best practices developed by the following organizations:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Wilderness Educational Association (WEA) - Leave No Trace (LNT) - American Canoe Association (ACA) - British Canoe Union (BCU) - National Outdoor Leadership School (NOLS) - Viristar Risk Management - International Federation of Sea Kayak Guides (ISKGA) <p>Join, help, ask questions, and see firsthand how these methods differ from those of the car-centered camp styles you may already be familiar with. Various equipment from overseas will be used, some has been in service for over 20 years. Participants of all experience levels are welcome to share in learning and discussion. There is no one right way, so let's all learn from each other. Japanese, English, and Russian language is OK! (屋外活動あり)</p>
	定員	なし

② エ	タイトル	アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023を終えて、そして未来へ
	実施者	菊地 敏孝 (北海道アドベンチャートラベル協議会)
	内容	アジア初開催となった「アドベンチャートラベル・ワールドサミット 2023 in 北海道」を開催してわかったこと。日本の観光産業転換期におけるアドベンチャートラベルの役割、商品造成について理解を深めます。
	定員	20名

② オ	タイトル	ガイドのキャリアを見つめなおす ～教えて！皆さんの働き方、稼ぎ方～
	実施者	北海道経済産業局 (北海道二十一世紀総合研究所、エゾシカ旅行社)
	内容	自然環境への関心、様々な人とのコミュニケーションなど、ガイドとして活動するモチベーションは人それぞれだと思いますが、仕事の安定性やキャリア形成などを巡って、どのような悩みや支援策があるか、話題提供とともに、参加者と意見交換を行います。事業者の方、ガイドの方、ガイドに興味がある方など、幅広くご参加いただきたいです。
	定員	なし

北海道アウトドアフォーラム2024選択ワークショップ概要

11月16日(土) ③14:00~15:15

③ ア	タイトル	創業19年 施設年間人数1万人 スタッフ12人 委託8名 ガイド会社の経営論
	実施者	板谷 貴文 (株式会社オーシャンデイズ 代表取締役)
	内容	最初、オーシャンデイズを、20万円から、立ち上げ、無借金で株式会社・合同会社を、運営しています。始めた当初は、労基もわからず、色々問題も起き、ブラッシュアップを重ね、経営19年になります。船井総研コンサル、行政書士・顧問弁護士など各種顧問契約をし、正社員には、確定拠出型年金制度を整え、クリーンな会社作りを、行っています。今回は、アウトドア会社で食べていけるのか?また、スタッフとして会社に勤めていけるのかなど、質問に答えながら話していきます。
定員	なし	

③ イ	タイトル	活動フィールドの価値を高め、守るための、生きもの観察記録(1) 講義とフィールドワーク
	実施者	松岡 和樹 (株式会社地域環境計画) 龍見 瑞季 (株式会社地域環境計画) 白川 勝信 (特定非営利活動法人 ochibo)
	内容	フィールドに生育・生息する生物の情報は、サステナブルツーリズムやATなどの要件への対応だけでなく、そのものが集客につながり、参加者の満足度を高めます。このワークショップでは、具体的な記録の方法や活用事例を紹介した上で、実際に国立日高青少年自然の家の周辺を歩きながら、動植物を記録します。「(2) ハンズオン <11月16日(土)④15:45~17:00>」にも、合わせて参加することをオススメします。(屋外活動あり)
定員	なし	

③ ウ	タイトル	地域創生とアウトドア
	実施者	中田 和彦 (北海道文教大学 教授)
	内容	北海道アウトドアフォーラムの参加者や関係者は、今や地域づくりにとって欠かせないパーツとなっています!!研究者として、そのエビデンスを明確に示し、アウトドアガイドの社会的なポジションを確立させたいと考えています。地域やフィールドへの想いをざっくばらんに交流しましょう。
定員	20名	

③ エ	タイトル	安全・安心・快適な野外活動に役立つレイヤリング
	実施者	平川 陽一郎 (㈱finetrack パートナーズオフィサー)
	内容	安全・安心・快適な野外活動に役立つレイヤリングとメンテナンス 安心して、安全で快適な野外活動を行うために役立つレイヤリングの方法とウェアの初期性能を保つためのメンテナンスの方法を紹介します。
定員	なし	

北海道アウトドアフォーラム2024選択ワークショップ概要

③ オ	タイトル	American Canoe Association (ACA) - SUP & Kayak Instructor Training Style
	実施者	Mick Hultz (Asobi Master Founder)
	内容	Introduce the ACA training format and style. It is very different from the Japanese learning methods. Co-presenter, Mr. Kishi of Hokkaido Great Adventure
	定員	なし

11月16日(土) ④15:45~17:00

④ ア	タイトル	ウチダザリガニ防除を通して外来生物問題を考える
	実施者	金子 恵美 / 石原 徹 (遠軽町ウチダザリガニ防除グループ ジオザリクラブ)
	内容	私たちは、主に遠軽町の湧別川水系で特定外来生物ウチダザリガニの防除活動を行っているボランティアグループです。ウチダザリガニ防除活動を行うことにより豊かな生態系を守り、外来生物問題や環境保全について参加者に伝える活動を続けています。私たちの活動を紹介し、外来生物問題について皆さんとともに考えたいと思います。
	定員	なし

④ イ	タイトル	活動フィールドの価値を高め、守るための、生きもの観察記録(2) ハンズオン
	実施者	白川 勝信 (特定非営利活動法人 ochibo) 松岡 和樹 (株式会社地域環境計画) 龍見 瑞季 (株式会社地域環境計画)
	内容	日々の活動の中で生きものを記録したら、記録をまとめたり、報告したりすることが大事です。「(2) ハンズオン」では、記録を入力するだけで、自動的な集計から学術的なリスト作りまで行ってくれるツールを紹介します。予算や人員を増やすことなく、日々の活動の中で、フィールドの生きもの記録を始めてみませんか。「(1) 講義とフィールドワーク〈11月16日(土)③ 14:00~15:15〉」にも、合わせて参加することをオススメします。
	定員	なし

④ ウ	タイトル	北海道で、星や宇宙を感じよう!
	実施者	小村 奈緒美 (緑の風リゾートきたゆざわ満天星)
	内容	1. 大滝周辺の星空写真を使った、オリジナルの星空のスライドショー。星や宇宙の魅力に楽しく触れられる内容で、参加者の皆さまには星空クイズに参加していただきます。 2. 手作り望遠鏡(工作)。屈折望遠鏡の仕組みを解説し、参加者の皆さまに組み立てていただきます。夜に、晴れたら各自手作り望遠鏡で月を見ていただけたら嬉しいです。(屋外活動あり)
	定員	なし
教材費	手作り望遠鏡材料費 およそ600円/人 ※当日現金徴収	

北海道アウトドアフォーラム2024選択ワークショップ概要

④ エ	タイトル	アウトドア業界カタリバ〜今抱えている課題や明るい未来を語り合おう
	実施者	白川 美穂 / 鈴木 宏紀 / 松澤 直紀 / 溝渕 清彦 / 山田 亮 (北海道アウトドアネットワーク (HON) 設立準備会)
	内容	異業種間や同業者間での協力や新しい取り組みを促進するためのネットワークをつくりませんか？ワークショップ形式で、日頃ご自身が考えていることなどを情報交換する時間を過ごします。
	対象 定員	アウトドアガイド及び自然体験活動を推進するプロ指導者及びプロ指導者をを目指す方々 定員なし

④ オ	タイトル	防災・減災教育についての開発プログラム
	実施者	独立行政法人国立青少年教育振興機構「防災・減災教育グループ」 (国立淡路青少年交流の家、国立諫早青少年自然の家、国立岩手山青少年交流の家、国立日高青少年自然の家)
	内容	全国に28施設ある国立青少年教育施設のうち4施設(諫早・淡路・岩手山・日高)がそれぞれの地域の特色を生かして防災・減災教育のプログラム開発を行いました。ソロテント泊やポリ袋炊飯を取り入れたキャンプを実施した施設、防災クイズや防災ミッションの試練をクリアして知識や技能を身に付ける施設、レジリエンス(困難な状況でも適応して回復を導く心理特性)の向上を調査する施設など各施設が実践発表します。
	定員	なし

11月17日(日) ⑤09:00~10:15

⑤ ア	タイトル	海を渡ってきた北海道の香り
	実施者	青野 範子(かみふらの十勝岳観光協会 会長)
	内容	北海道をイメージする香りラベンダーがなぜ北海道を代表する香りとなったのか？ラベンダーが農作物から観光への移り変わりをオンラインツアーをしながらご紹介します。実際にラベンダーの香りも体験します。
	定員	30名
	教材費	ラベンダー蒸留教材費 500円/人 ※当日現金徴収

⑤ イ	タイトル	個人とグループの成長を促すアドベンチャー教育プログラム体験
	実施者	鈴木 宏紀(自然考房 Nature Designing 代表)
	内容	身体を動かしながらグループや自分自身とのコミュニケーションを通じて、全員が安心してアドベンチャーできる場を目指します。自ら楽しむ、まずはやってみる、自分の枠から一歩踏み出す、を意識して参加してみてください。(持ち物:防寒着、レインウェア、作業用手袋、飲料水) (屋外活動あり)
	定員	15名

北海道アウトドアフォーラム2024選択ワークショップ概要

⑤ ウ	タイトル	安全性を高めるテントレイヤリング&ツエルトの使い方
	実施者	平川 陽一郎 (株)finetrack パートナーズオフィサー)
	内容	安全性を高めるテントレイヤリング&ツエルトの使い方 テントの安全性と快適性を高めるテントレイヤリング、2023年に北海道を南北に貫く分水嶺ルートの連続踏破を史上初めて成功させた野村良太氏が使ったシステムを実際に設営してご紹介します。同時に効果的なツエルトの使い方を解説いたします。 一部、屋外での活動を予定しています。暖かい服装をご用意ください。(屋外活動あり)
	定員	なし

⑤ エ	タイトル	みんなで考えるアウトドアの未来～アウトドアの原点に立ち返ろう クリティカルシンキングとアンラーン～
	実施者	植田 祐矢 (札幌新陽高等学校)
	内容	アウトドアとは何か、「批判的思考」「学びほぐし」の視点で考察し原点に立ち返ります。そしてこれからのアウトドアの未来に対して出来る具体的なアクションを考えます。基本的に4人1組でワークを行いながら進めます。
	定員	なし

⑤ オ	タイトル	今後のアウトドアツーリズムの可能性を一緒に考えませんか！
	実施者	武田 丈太郎 / 山田 亮 (北海道教育大学岩見沢校)
	内容	近年、我が国においては、地域への誘客が可能で観光消費の拡大に期待できるアウトドアツーリズムの推進に積極的に取り組んでいます。ワークショップでは、国の政策動向を踏まえながら、私たちが取り組む“教育的価値・学び”を掛け合わせたアウトドアツーリズムの事例を紹介します。それらの情報を基に簡単なワークをしながら、皆さんと一緒に、今後のアウトドアツーリズムの可能性を一緒に考えていく予定です。ご参加お待ちしております！
	定員	なし

⑤ カ	タイトル	北海道におけるリバー・セルフ・ガイドの可能性と課題
	実施者	トムソン ヘイディ (北星学園大学短期大学部)
	内容	ニュージーランド出身の観光学研究者によるこのワークショップでは、ニュージーランドのワンガヌイ川で行われる4泊5日の「ワンガヌイ・ジャーニー」を中心としたカヌーレンタルやセルフガイドについて紹介した後、ワークショップの参加者と一緒に、1)北海道の川の魅力と2)北海道の川におけるセルフガイドやカヌーレンタルの可能性と課題についてディスカッションします。 ※ワークショップの使用言語は日本語
	定員	15名